



日新報社印

教林新報

第三號

明治壬申十一月

定價新貨三錢

西垣文庫
文庫 10
7284
1



教林新報緒言

智^チ及^キテ^テ 滓^チ磨^ルセ^レバ^バ 方^ハ寸^ノノ^ノ 百^ハ魔^ヲヲ^ヲ 研^ル断^スル^ニ 足^ルニ^ニ 爰^ニ
 人^ノ民^ノ 有^ル生^ノノ^ノ 始^メニ^ニ 良^キ知^ル良^キ能^ルノ^ノ 天^ノ賦^ヲアリ^ト 雖^モ 情^ヲ怒^ルノ^ノ 所^レ侵^ム
 何^レ嘗^シ一^端ノ^ノ ミ^ナラ^シン^智双^ノ 銳^リ之^ヲ 断^スル^ニ 非^ズン^バ
 莫^ク 能^ク 其^ノ 真^ヲ 保^全ス^ルヲ^ヲ 得^シ而^シテ^テ 致^ス知^ルノ^ノ 功^ヲ性^ヲ理^ノ
 學^ヲ 專^心 循^ル到^ルノ^ノ 工^夫ニ^ニ 由^ルモ^モ 亦^モ 聞^ク見^ル省^察ノ^ノ 裨^益ヲ^ヲ 資^スザ^ル
 マ^カラ^ズバ^バ 乃^チ 新^報 所^レ載^ル時^事世^ノ 說^ハ 危^言 瑣^語ノ^ノ 如^キ之^ヲ 玩^讀
 シ^テ 其^ノ 要^ヲ 得^バ 留^心 省^察ノ^ノ 裨^益タ^ラザ^ルナ^シ 然^レ 則^チ 是^ニ 由^リ
 テ^テ 莫^ク 靈^ノ 性^ヲ 培^養シ^テ 明^敏ノ^ノ オ^ヲ 暢^發ス^ル一^助ト^スル^ヲ
 得^バ 我^ノ 教^會ノ^ノ 素^志ニ^ニ シ^テ 斯^ノ 新^報モ^モ 智^双ノ^ノ 礎^石ト^スル^ニ
 庶^カ 幾^カ ヲ^ラン^カ

教林新報社記

教林新報第三號

明治五年申年十月



○羣馬縣ヨリ貫前神社御靈代ノ札并守等參詣ノ人

ヨリ被乞候節差出シ候テ不苦哉神籤ノ義同断被乞

候節モ從前ノ如キニ扱々又ハ病氣平愈ノ為祈禱又

ハ禍神禍物退散引目鳴弦等舊社人致シ來リ候処乞

ハレ候節出シ候テ不苦哉否伺々相成タルニ御靈代

ノ札并守等差出シノ義ハ不苦神籤引目等ノ義聞届

難キ旨指令ナリカリ

○石川縣ヨリ今度寺院明細帳記載方ニ付更ニ取調

候処檀家堂宇モ無之廢寺ニテ外差支無之分ハ寺號
取消シ可然哉伺ヒ相成シ処取消不苦旨指令有タリ
○諸宗管長年番左之通一宗申合セ相定候旨御届ア
リタリ

高野山無量壽院住職

真言宗管長

權大教正 密道應

東京誓願寺住職

浄土宗管長

權大教正 養鸕徹定

西京天龍寺住職

禪宗管長

大教正 由利滴水

伊勢專修寺住職

真宗管長

大教正 常盤井亮熙

○岐阜縣下濃州大野郡石徹白村と云る々白山の南
麓小傍き東濃州ニ接シ荒山僻地の内小石居一更小
一世畧の如シ往昔足利氏の族石徹白大和寺の主從
斯小流寓せしより其子孫蕃息し戸數百五十餘其
名々故郡上藩乃板圖ニ列シ其实々地と私有し曾テ
出税せむ加之一村皆中居宮乃神職とあり速近の郷
村及び義濃の國ニ至る迄御供米を貧り真ニ放逸の
遊民たり〜ガ 皇政維新の際ニ當り一村の社家厚

御趣意を領會し相告て曰普下卒濱皆王臣王土
 不非るなり然るも今我輩上大藏省も入貢せず下庶
 民と貪吝を饗養の罪豈慙愧の至りあらずやと則舊
 郡上縣へ出願し咸く神職を辞し農民も伍し相當
 の貢米差上度旨申出ければ郡上縣も其志を賞
 し則實地測量の上見取米五十石と税を定め今ハ岐
 阜縣編戸の民とありたり如斯僻地も住る頑民も
 其名分大義と辨へ自訴入貢を願ひとるる奇特と云
 ざる之を開化の府縣も住し詐偽上を誑き昏昧私
 と營む者も比まれば其懸隔豈啻霄壤の如しんや

○山形縣管下左沢柳免町醫師塚本信齋ある者同町
 医王寺修驗清壽の持地と先年永小作も買受之と家
 作とし居住せしが右地所続き何畝何歩別と五年
 賃地も買入当復小者義助なる者も命ト畑作手入致
 させし永小作と賃地の境も至りて土中より蓋附
 たる陶器一ツ堀出し其中も古金若干を存しありと
 然るも信齋右の古金と医王寺へ贈り右地所一端買
 請しと云と虽も現も医王寺古來より朱印の地と
 ば收受ありて然るべくを云るも清壽之を押戻し地
 主名のとゆて其実る信齋の地所たる事無論を

大木行及 第三卷

り御邊方ふて處分せらるゝ事至當なるん否然し
左に何れと互に之を譲り遂に縣廳へ訴へられれば
同縣より處分と司法省へ伺ひ小相成しとあり

支那刊行教會新報鈔記

高麗國今年大飢饉めし國中の人民嗷々餓死す國王
儲糧を以屢賑濟せれども遍く給さる能ず米價騰踊
窮民己が婦女を以米を易ゆ一婦人を以一斗米易
せる小至る高麗嚴しく外國の通商を禁む今此凶荒
小遇へり何ぞ前禁を寛免て飢民を救ふべやと云々
記者曩小青霞子ある者の時勢を論ぜし文章を見

たり今前頭小據あるを以て左に擧ぐ

測勢上篇

一隅ノ見ヲ持シ陋固ノ風ヲ計シ天人ノ理ニ反スル
者未ダ嘗テ危亡セザル者ハ有ラズ今夫日月星辰及
地球ノ宇内ニ在ルハ猶人ノ五臟六腑腹中ニ懸ルガ
如シ五臟六腑相待テ相存スル者ナリ故ニ一臟傷レ
バ餘臟其害ヲ蒙リ一腑傷レバ餘腑又其禍ヲ受ク日
月星辰及地球亦相待テ相存スル者ナリ故ニ日有テ
月ナカル可ラズ月有テ日ナカル可ラズ陰陽水火各
主トル所アリト雖モ互ニ相資テ其用始テ全クレ日

月星辰及地球ノ相距遠遠ト雖モ如此然而同一地球
上ニ居テ獨リ其國ヲ鎖スハ頑陋不通ニメ天人ノ理
ニ反スル者ナリ蓋大古生民ノ始ヤ一村一郷ノ中ニ
テ彼此貿易踴々トシテ行キ涼々トメ生ズ其閑ルニ
及デヤ一郷ヨリ一國ニ通ジ一國ヨリ萬國ニ達ス此
ニ於テ乎曩ノ踴々タル者駸々トメ進ミ曩ノ涼々タ
ル者郁々トシテ盛チラザルハ無シ其施シ人爲ニ出
ルト雖モ抑亦天道ナリ然初頑然舊習ヲ墨守シ交通
ノ理ヲ知ラザル者後必危亡ニ至シ此ニ百家ノ里ア
リ九十九家交際日ニ厚ク有無相通シ艱難相救テ一

家獨リ戸ヲ閉テ交ヲ絶チ目有テ見ズ耳有テ聞ズ而
ノ曰祖先以來ノ家風如此ト四隣豈嗤笑ヤザルヲ得
レ一旦事有セ誰カ能ク是ヲ救ハン英吉利ノ國タル
ヤ歐羅巴ノ西隅ニ在リ其人民初ハ甚ダ慧巧ナラズ
亞利曼ト一タビ和好ノ後漸々開明今ハ宇内ニ在テ
最モ敏達ト称ス日耳曼ノ國タルヤ歐羅巴ノ中ニ居
ル其四境海ヲ距ル遠シト雖モ其人民誠實ニシテカ
學勤行自カラ滿假セズ英吉利北利士希臘ノ諸國喪
亂ニ遭ハ日耳曼ノ列侯世子ヲ招テ王トナス者アリ
俄羅斯ノ國タルヤ歐羅巴ノ半洲ヲ分チ亞西亞ノ北

境ニ跨リ宇内第一ノ大國タレ凡敢テ其富盛ヲ恃ミ
温飽ニ安セズ常ニ遠大ノ志ヲ抱ク凡此ノ數國ノ博
大雄豪ナル者何哉風濤ヲ凌ギ遠洋ヲ踰エ危険ヲ涉
テ辞セズ寒暑ヲ經テ屈セズ故ニ聞見廣クメ知識明
ニ給資多クメ國用充ツ彼陋固ニメ自カラ足レリト
スル者皆其吞并スル所トナレハナリ是ニ由テ論ズ
レハ鎖國ノ不可ナルヤ明カナリ然ト雖モ関港亦難
イ哉関ノ難キヲ謂ニ非ズ関ニ處スルノ道難キナリ
○愛倫イールランド於て近頃波羅特及ビ加特カカトリックの宗論起リ家
を毀ち寺院を燒等の舉動あり此防禦とて兵隊及

以選兵合して四千餘出張一漸々治りと遂に靜
謐ワカふ至りしとあり

○入間縣下比企郡松山町貫属柳下元良同横見郡黒
岩村秋場太玄兄弟の者父在世中夙もと洋學オランダ志篤く
多年杉田玄白オランダ隨學オランダ一成業の上一時診治シムの徬行と
れ加るお性質素と事とせば活斗カウチの餘貯ヨウと存ぜり然
るお頃日保字小判五十枚縣下醫學所へ献納し以て
洋學生徒等修業の缺乏を補ひたり縣廳大お奇特と
し褒賜とて羽二重一反宛被下置度旨大藏省へ伺
以相成しとあり

童蒙理言

横濱辨天通某の土蔵に住る鼠と同根岸村の片邊に
 住る鼠と一朝面會せし事有り時又弁天通の鼠誇て
 曰く足下も僕も方今開化の家元たる横濱に住居る
 せど足下る僻在ふありて眼に百般の美蠶を見ざり
 ぬ百物の佳味を喰ひ実ふ愍然の事と云ふん歎凡吾
 住む弁天通ハ大厦高樓軒を繼人烟輻湊昼夜の別無
 く物として足ざるをみれば事として整はざるを
 況や地獄落しに迂遠と卑て之を用ひざる銀山礬石を
 嚴禁の令ありて之を施す事難し歡樂此時を期すべ

うらば今より已と同道しせめてハ其光景をも見
 らよと鄙の鼠此語を羨みふは同道致さんとて彼
 弁天通り某の土蔵に至りて見るに這る斯例の舶來
 店めて織物棚に陣列し器物其他の玩弄品所せき迄
 並びあり斯て此家の鼠種々の食物を運び来るは是
 又目馴ぬ美肴をれば鄙乃鼠ら事々驚くをかりふ
 り斯る折柄此家の主管小猴子に鐵の棚燈を持せ突
 然庫中へ入來れば鼠等暗し啁章せしり市の鼠は能
 案内を去れば忽ち一乃巢窟に隠れたれど鄙の鼠は
 不知案内逃んとるを小猴子視咎め之を獲んと追

以廻をバ鄙蕩る益狼狽一辛く一方此血路を得虎口
を逃れ一思ひ一我住む根岸へ帰るを得て大に悔
悟あせしとあり実ふ人も斯ごとく身小應ぜざる快
樂をなさんと欲せば此危き小遇ふ事俛仰くん故宜
しく其分は應ぜよ若一度斯る恥辱を蒙る以上大
小人望を失ひ他日身を立る障碍とあり心きあり

教林新報第三号 終

本局既ニ准允ヲ得テ此新報ヲ刊行セリ其趣旨前
ニ述タル如シ若諸社諸山告諭又説教上ノ高論其他
江湖ノ雑話ニ至ル迄資テ以テ教化ノ一端トナル
べき條件ヲバ必ズ報ジ給ルベシ其書ニハ極テ
住所姓名ヲ載セ給へ匿名ノ書ハ採入セズ蓋シ報
告上梓ノ規則ハ都テ日々新聞ノ例ニ倣フ然レモ
賣藥及ビ醫品發賣ノ告條ハ記載セズ

官許教林新報本局

東京元大坂町
日報會社

諸國賣弘所

東京見揚通三丁目

須原屋茂兵衛

越後新瀨

荒川太司

同 通三丁目

山城屋佐兵衛

駿州靜岡七軒町

須原屋善藏

同 淺草茅町三丁目

須原屋伊八

尾列名吉屋本町上三丁目

萬屋東平

同 大傳馬町二丁目

弘文堂

甲易八日町

富士屋傳左衛門

同 神田銀治町

中外堂

勢易山田

藤原甚左衛門

同 京東洞院三茶上丁

村上勘兵衛

上及尻橋立町

下妻屋藏八郎

同 富小路通三茶下丁

須原屋平左衛門

若松大町二丁目

齋藤八四郎

同 大塚町通心齋橋東

河内屋真七

陸前仙臺芭蕉辻

木村屋父助

同 武州横濱元井天

活板社

武及忍山島

原田清太郎

同 東京川瀬石町

村上勘兵衛

相及小田原取竹花町

遠藤金八

同 大坂本町

書簾會社

相前山形

市村五郎兵衛

同 同前平町

清新堂

下總流山加村店

增耳堂市三郎